

2024年度 県民せいきょう岡保きらめき 自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I.理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生協の基本理念である「あなたらしさいつまでも」に基づく「10の基本ケア指針」を揚げ、利用者のできることをやりたいことを知ろうとすることを積み重ねながら、職員一人ひとりが意識し、利用者と一緒に考え、実現することを実践している。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域行事に積極的に参加し、地元住民と繋がり、畑作業やこども園児との野菜の収穫や地域の奉仕活動、祭りなど日常的に交流をしている。また地域サロンにも参加している。	認知症サポーター養成講座やサロンへの参加などを通し、日常的な交流がある。また、地域の方との畑活動やこども園での清掃活動などでも交流がある。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	月別利用状況、活動状況、ヒヤリ介護事故、利用者や家族の声を報告した上で参加者より率直な意見をいただきサービス向上や運営に活かしている。	定期的開催され、情報共有、意見交換ができる、貴重な時間になっている。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	サービスを提供する中でわからないことがあれば、福井市地域包括ケア推進課や大東包括に相談し指示やアドバイスを受け運営に活かしている。	研修や講演会などに参加するなど、日頃から、市や包括との連携が取れている。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	月1回の委員会や研修会、勉強会の開催で身体拘束の意味を理解し、現状の確認や意識の共有をし、抑制しないケアに取り組んでいる。不適切ケアについても学び抑制しない威圧しないケアを実施している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	玄関の施錠はされておらず、自由に行き来のできる、拘束のない環境である。身体拘束を行わないことの同意書が家族用にあり、拘束を禁止していることが家族に分かる状態になっている。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	委員会や研修、勉強会に参加し啓発している。普段のミーティングで意見交換行い対応方法を考え共有する事で虐待行為を予防している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域の中で起きている虐待のケースなども運営推進会議で共有し、相談をすることができている。

7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理者(兼計画作成者)は学ぶ機会があり理解しているが、介護職員の理解が弱い部分がある。学ぶ機会の確保が継続課題である。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約の締結、解約また改定等の際には、ご本人やご家族に分かりやすいパンフレット等を提示し、事前見学やサービス内容の説明をしている。不明点や疑問点には適宜対応し納得された上で契約を締結している。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の声は、普段の会話や「お茶の時間」での話し合いで集め、ご家族の声は電話や面会時、担当者会議、「利用者満足度アンケート」で集め法人の入力システムに入力し福祉事業部(本部)でも共有し運営の反映改善につなげている。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	SNS やいこっさ新聞などの広報誌の配布により、施設内のできごとを知ることができている。意見などがあれば、運営推進会議でも共有ができている。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々のミーティングや月1回の職場会議、年1回の方針検討会議で職員の意見を集めている。また、法人のアイデア提案制度を活用し普段から提案できる環境を整えている。事業所でできる提案は即日実施している。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年3回個人面談を行い、個人目標達成状況の確認、意見交換を行っている。また法人主催で労働条件説明会を実施し、職員の意見を聞き反映できる所は反映する仕組みがある。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員の様子は明るく、活気があり生き生き働ける職場であると感じる
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	動画研修や他事業所での実習、社協や介護福祉士会、認知症高齢者医療介護教育センターの研修を、各自の立場や経験に応じた学びの機会を確保している。法人で推進している新人研修3年目5年目研修、10の基本ケア研修に参加し実技も含め育成に努めている。		A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員の育成だけでなく、地域や家族に向けた勉強会も開催していて、認知症に対する理解や関わり方等を見つめ直すきっかけになっている。

13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	県のグループホーム連絡協議会に参加し交流を深めて、日頃の現場での悩み解消や他事業所の取組みを知ることでサービスの質の向上に繋がっています。法人内では毎月4事業所で部門会議を行いサービス向上のための意見交換を行っている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	「いつも始まりは本人の声から」をコンセプトに介護される側する側の関係性ではなく人として本人と対話を繰り返し一緒に考えて望む暮らしを実現している。本人と関わる中で本人を知ろうとする事を積み重ね想いをカタチにしている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	感染対策を徹底し対面での面会を実施している。年賀状のやりとりや本人の思い出の地への外出、法事など行事の出席、自宅へ帰る、家族との外食、馴染みの美容室に行くなどしている。	広報誌やSNS、運営推進会議での報告からは、本人や家族の思いを聞き取り、交流や外出が行われていると感じる。		
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日の「お茶の時間」で利用者に今日は何する？と声かけし、思いや意向を活動に繋げている。言葉にできない想いをカタチにする為に、家族や関係者などで本人の立場に立って話し合いをしている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	面会やカンファレンス、担当者会議の際に本人の意向を聞き取り、家族や主治医、訪問看護との話し合いする機会を持ち計画を作成している。本人や家族の変化に応じて臨機応変に見直しをしている。毎月評価し3か月ごとのモニタリングを実施している。	家族や職員、関係者を含め、意見を出しながら、本人の状態や思いに沿ったプラン作成が行われていると感じる。	A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的に担当者会議を行うことで、本人や家族の思いを聞き取ることができている。職員に共有し、ミーティングを行うことで、より良いケアに繋げることができている。

18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人と一緒に過ごす中で見えてきたことや気づき、言動や想い、変化を毎日記録し、職員間の情報共有やケアに活かしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の状態の変化を記録に残すことができ、職員間での情報共有を通し、実践することができている。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々に見えるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	医療連携体制を活かして利用者や家族にとって負担となる受診や入院の回避、早期退院の支援、医療処置を受けながらの生活の継続、重度化した場合の入院の回避といった利用者ニーズに応えるため柔軟な支援を臨機応変に展開している。	慣れた環境で安心して生活が続けられるよう、柔軟に対応していると感じる。本人にとっても安心感があると感じる。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域の美容室による訪問や移動マーケット、訪問診療や訪問看護、地域の有志による畑作業や、消防訓練など地域の力を借りて利用者の安全で豊かな暮らしの継続を支援している。	地域資源を活用し、支援を行っていると感じる。地域の方が利用者を曾万布町の住人と考えている。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者、家族の意向に合わせ、かかりつけ医に受診している。訪問診療、訪問歯科診療による受診にも対応している。必要に応じて書面や電話にてかかりつけ医に情報提供を行っている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日頃から主治医と連携をとっており、入院された際には病院に情報提供し退院前には病院ご家族計画作成者でカンファレンスを行いスムーズな利用再開に努め、早期退院の柔軟な支援も行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	主治医との連携が密であり、お互いに意見交換をしながら、利用者にとってより良い選択となるような支援に努めている。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	連携医療と本人・家族と話し合いを重ね、今後の生活について話し合う場が定期的に設けられている。状態の変化があった際は都度話し合いを行い、書面にて移行確認をしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	担当者会議などを通し、本人と家族に終末期の考えや要望の聞き取りを行っている。状態の変化があった場合には、その都度意見や要望を聞き取り、柔軟に対応をしている。

24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	急変時や事故発生時のマニュアルを確認し対応についての勉強会や実際の事故発生時全てのスタッフが指導のもと初期対応を経験し実践力を身につけている。消防署の緊急時の対応を必須研修と位置づけ全てのスタッフが参加する仕組みになっている。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	年2回の防災訓練を実施。緊急連絡表に自治会長の連絡先も入れていただき防火訓練に地域住民も参加いただく等、地域との協力体制が築けている。昼夜問わず避難が行えるよう改善を図っている。	自治会長は毎年変更があるため、協力体制が継続できるよう、今後も連絡先の確認を継続していく必要があると感じる。	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	夜間帯での対応は困難な部分もあるため、課題の洗い出しを行い、運営推進会議等で協議し、協力体制築いていく必要がある
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	声かけは基本敬語で行いタメ口やちゃんづけはしないことを守っている。羞恥心やプライドに十分配慮し、利用者の希望があれば同性介助を行っている。		☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	学習会や研修を実施し、誇りやプライバシーを損ねない対応を行うことができる。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	毎日「お茶の時間」に一日何をするかを利用者と一緒に考えて実現している。一人ひとりのペースに合わせて支援している。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	食材の買い出しやおかず作り、盛り付けなど利用者と一緒に行っている。利用者の声から外食やテイクアウト、出前で食事をする事もしている。		☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	食事に関しても、利用者の要望に合わせた活動を行っている。食事を楽しんでいる様子が見られる。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	法人の栄養士が栄養バランスを考えた食事を提供している。食事の摂取量や水分摂取量を記録している。必要に応じて主治医や訪問看護と連携し、対応をしている。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	食後の口腔ケアの声かけを行い、不十分な所は介助し清潔保持に努めている。訪問歯科の指導を受けその人に合った適切な口腔ケアを実施している。		☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	歯科往診や指導など、課題を感じている方の個別での専門的な支援が行えている。

31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	「10の基本ケア」に基づきオムツをしない生活がふつうの生活であると理解し、オムツをしない生活を目指している。紙オムツの使用を減らし可能な限りトイレで排泄する事に取り組んでいる。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個別で排泄自立支援を行っていることは聞いてはいるが、10の基本ケアについてあまりよく知らない。知る機会がない。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の生活習慣に合わせた時間帯に入浴ができる。無理強いすることなくリラックスした気分で入浴できるよう工夫している。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	その時の体調に合わせてまた本人のペースに合わせて休息や睡眠がとれるよう配慮している。消灯時間などは設けていない。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	薬情報をカルテに保管し職員間で用法・用量、副作用を共有し、理解している。服薬マニュアルに沿って支援し飲み忘れや誤薬を防いでいる。服薬調整の際には、経過観察を行い、その都度、主治医や訪看、家族と連携している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	マニュアルに沿って対応をしていると思うが、服薬の事故の報告が多くあった。事故が起きないように、対策する必要がある。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活歴や趣味などの情報を活用して楽しみを増やしやりがいを感じることでできる取り組みを行っている。カラオケが好きな利用者が地域の方と混じってカラオケの会を展開したり、法人内のおしごとで組合員のお役立ちの一端を担ったりしている。	本人の得意とすることを活かし、楽しみや役割作りが行えていると感じる。利用者の生き生きと生活している様子が伝わってくる。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者と「お茶の時間」に話し合いをし、こども園のモップがけやお出かけ、外食、買い物、法事や墓参りなど本人の想いに沿って出かけられるように支援している。	利用者との話し合いの中から、本人の希望に沿った、外出が行えていると感じる。こども園での清掃活動はこれまでの関わりの中から実現できたことであると感じる。遠くへの外出も良いが、近所への散歩などを積極的に行っていることは良いと感じる。		

37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	基本的に家族から預かった金銭は金庫で保管管理している。外出や買い物の際には本人が支払いできるように支援している。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	国外の家族との Zoom 面会や電話や手紙のやりとりができるようにプライバシーに配慮しながら支援している。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自宅で使用していた馴染みの家具や飾り、写真などを持ち込んだりしてその人に合った生活環境になるようにしている。季節の花や掛け軸、絵を飾るなど家庭に近い雰囲気を感じてもらえるように工夫している。ソファを所々置きゆったりと過ごせる空間をつくっている。		A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自由に過ごせる環境になっており、自分の過ごしたい場所で過ごすことができる。レイアウトを変更する場合は利用者と一緒に考えながら行っている。
IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の発言に対するケア改善は、日々のミーティングで検討されている。また声だけでなく、表情や行動から推測し、職員だけで決めず本人と一緒に考えて決める事に留意している。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所前の自宅での生活を継続できるよう支援し、家族など周囲から聞き取りを実施しながら本人らしい生活に繋げている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族、主治医、訪看などと細かな状態変化を共有している。本人と関係者全体で協議し、日々の状況に沿った支援となるよう迅速な対応を行っている。		A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族や主治医、訪看などと連携を取り、職員間で共有や話し合いを行い、ケア、支援を行っている
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人や家族から今までの生活習慣を聞き取り、普段の生活に取り入れている日常の関りの中で利用者の声を大切に一人ひとりに合ったケアを行っていく。			

44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族の写真や、アルバム、使い慣れた化粧台、家具など置く等、個々の要望に合わせて持ち込みができている。		A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	居室には馴染みのものを置き、生活感のある環境がある。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	「お茶の時間」を通して本人のやりたいことや希望を聞き実現している。	本人のやりたいことを聞き出し、実現することができると感じる。		
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	「先回りしない」「待つ」を実践し本人の持つ力や主体性を引き出すケアや仕組み作りを考えて展開している。			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができる	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活歴や好きなことをアセスメントし、その上で活動に参加する等、希望に沿った活動ができるように一緒に考えて話し合っている。		A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	SNS や広報誌などを通し、生き生きと活動している様子が感じられる。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる	A. 充分にできている B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域行事やきらめきでの行事に参加しているが、本人の主体的な交流に繋がっている機会は少ない。対話を大切にして生まれた声から、交流の場や活動が増えるよう改善していく。	地域住民と一体になって祭りを行っていて、地域とのつながりを強く感じる。地域の行事にも積極的に参加していると感じる。地域のコーヒースロンなどでも交流が行えている。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ前の生活に徐々に戻りつつあり、地域へ出向く活動が増え、地域の方との交流の機会が増えてきた。本人主体の活動を増やしていくための話し合いや対話、在宅時のなじみの関係を継続できるように支援していきたい。	イベント等での地域の方や家族が楽しみ、にぎやかな様子を楽しめたと思う。外へ出ることも増えたため、本人の思いを実現できる活動に繋がってほしい。	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外部交流の場を拡大させながら、本人主体の活動が更に増えていくと良い。